

令和２年度
第２回滝川市地域包括支援センター運営協議会
（書面会議）

次　　　　　第

１．議　　事

- （１）令和２年４月～９月滝川市地域包括支援センター
活動報告について
- （２）令和元年度高齢者実態調査結果報告について
- （３）令和２年４月～９月認知症初期集中支援チーム
活動報告について

(1) 令和2年4月～9月滝川市地域包括支援センター活動報告

1. 総合相談支援

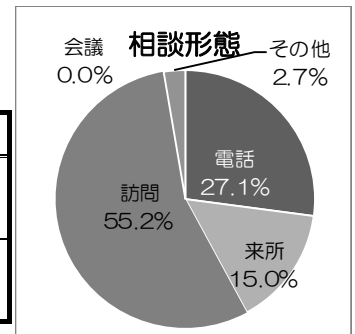
高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活を継続できるよう介護サービスにとどまらない、保健医療福祉の機関又は制度の利用につなげる等の総合的な支援を行った。

(1) 相談件数(単位：件)

2年度 前期	1,036
元年度 前期	991

(2) 相談形態(単位：件)

	電話	来所	訪問	会議	その他	合計
2年度 前期	283	157	568	0	28	1,036
元年度 前期	205	171	576	7	32	991



(3) 相談者区分(単位：件)

	本人	家族	民生 委員等	地域 団体	医療 機関	警察	実態 把握	その他	合計
2年度 前期	146	140	27	84	77	14	501	47	1,036
元年度 前期	182	119	40	111	48	12	472	7	991

(4) 相談内容区分(重複あり)(単位：件)

	介護日常 生活相談	医療に関 する相談	権利擁護 相談	実態把握	介護予防 事業	苦情相談	SOS 関連	その他	合計
2年度 前期	461	56	15	495	12	1	3	106	1,149
元年度 前期	466	38	24	467	10	1	3	88	1,097

(5) 対応内容区分(重複あり)(単位：件)

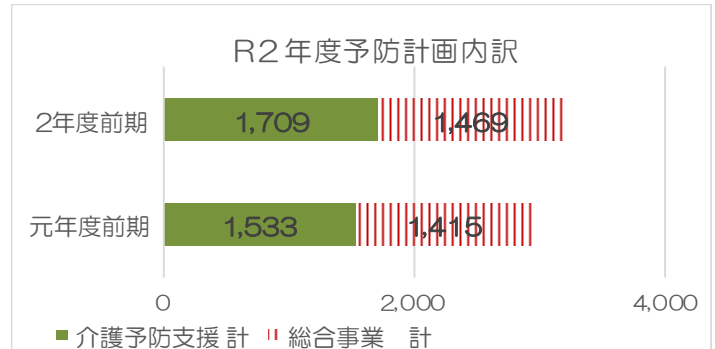
	相談・ 情報提供	ケース 会議	連絡調整	家庭訪問	申請代行	SOS 関連	調査訪問	その他	合計
2年度 前期	597	7	432	214	35	2	439	64	1,790
元年度 前期	685	7	356	143	24	0	428	27	1,670

2. 介護予防ケアマネジメント事業

要支援1・2の認定者、総合事業対象者がより自立した生活を送れるために、適切な介護予防サービス等が提供されるよう、予防サービス計画を作成した。

(1) 担当総件数（単位：件）

	包括	委託	合計
2年度前期	3,155	195	3,350
元年度前期	3,085	206	3,291



(2) 予防計画作成実績（単位：件）

	介護予防支援			総合事業			合計
	包括	委託	計	包括	委託	計	
2年前期	1,616	93	1,709	1,390	79	1,469	3,178
元年前期	1,422	111	1,533	1,334	81	1,415	2,948

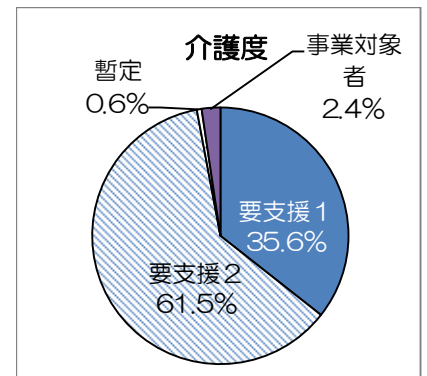
令和2年度指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメントに係るケアプラン作成

委託業務事業所（令和2年9月末現在）

- ・株式会社 ひなたネットワーク
- ・有限会社 ケア・コラボレートK・H
- ・医療法人社団 新緑会 文屋内科消化器科医院
- ・社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会
- ・SOMPOケア株式会社
- ・社会福祉法人 旭川福祉事業会
- ・医療法人 徳洲会 介護老人保健施設コスモス介護センター
- ・医療法人 翔陽会 滝川脳神経外科病院
- ・ひまわり介護 株式会社
- ・社会福祉法人 滝川市社会福祉事業団
- ・医療法人 シーザース・メディ・ケア

(3) 介護度（単位：人）

	要支援1	要支援2	暫定	事業対象者	合計
2年度前期	1,192	2,059	20	79	3,350
元年度前期	1,000	2,019	38	234	3,291



(4) 担当者会議開催数（単位：回）

2年度前期	526
元年度前期	572

3. 一般介護予防事業

ますますげんき教室

介護予防チェックリストにより、外出の機会が少なくなり、運動機能などが低下している虚弱高齢者を対象として週1回、血圧測定・健康チェック・百歳体操・ミニ講座（栄養・歯科・転倒防止など）を実施する。新型コロナウイルス感染症防止のため、5月は利用者の自宅を訪問し、感染予防の注意喚起及び健康・生活状況などの確認を行った。

ますますげんき教室参加者数(単位：回・人・人)

	開催回数	実人数	延人数
2年度前期	26	24	263
元年度前期	40	27	406

4. 包括的・継続的マネジメント事業

地域の介護支援専門員の指導や支援のほか、高齢者が住みやすい地域にするため、関係機関とのネットワークづくりを行った。

(1) ケアマネジャーの相談窓口

相談件数(単位：件)

2年度前期	4
元年度前期	7

困難事例の相談を受け、対応を検討した。

(2) 関係機関ネットワーク会議

在宅・施設・医療等の関係機関に呼びかけ、相談員・介護支援専門員が参加。偶数月の水曜日に定例で情報交換・事例検討を行っているが、新型コロナウイルス感染症防止策のため4月は中止、6月・9月は書面会議で開催した。

《関係機関ネットワーク研修会》
新型コロナウイルス感染症防止策のため実施なし

(3) 地域ケア会議

- ・地域の個別事例を通して、地域課題を見つけ解決へつなげる地域ケア会議個別会議を9月末まで2回開催。
- ・高齢者の介護状態の改善や悪化防止へ向け、地域の多様な専門職の助言を踏まえ、一人一人の支援方法を検討する自立支援型地域ケア会議を開催し、事業対象者・要支援者に対する個別事例検討を4回8事例行った。

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

- ・在宅医療と介護の連携に関する地域の課題を抽出し、その対応策を検討することを目的に、市内の医療、介護に関する関係者が集まる推進会議を開催。事例検討を通じて、課題の共通認識を図り、課題解決へ向けての対策に取り組む。会議は5月（書面会議）、8月（対面会議）で2回開催。
- ・5月は多職種連携をテーマとして書面で意見交換し、8月は滝川市立病院地域医療連携室の事例を検討。
- ・口腔栄養アセスメントシートの活用について共有を図った。

(5) 生活支援体制整備事業

- ・高齢者が増加する中、多様な生活支援・介護予防サービスを利用できるような地域づくりをめざす。生活支援コーディネーターが基盤づくりのために、地域住民の集まりに参加し情報収集と支え合いの重要性の説明や活動支援を行う他、他市町村のコーディネーターや活動者との情報交換をオンラインで行う。
- ・いきいき百歳体操休止中の、参加者への訪問や電話での体調確認作業に協力。
- ・認知症地域支援推進員と連携し、啓蒙啓発活動を行う。
- ・支え合い通信の発行（8月、12月）、ホームページを作成し、活動報告を行っている。

- ・11月に第1層協議体となる「滝川支え合い会議」を書面会議にて開催。
- ・減災研修「見守り・支え合い研修会」として普段のつながりから減災をテーマに10月3日第3小学校区、10月24日江部乙小学校区の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止対策のため延期した。

生活支援コーディネーター活動状況

	地域情報 周知・情報 収集・情報共 有・ニース調査	他市町村 連携	庁舎内 連携	地域活動 支援	情報発信	包括ケア (認知症等)	協議会 関係	合計
2年度 前期	101	9	7	0	28	57	1	203
元年度 前期	63	17	7	90	72	18	5	475

5.認知症対策関連事業

(1) 認知症予防講座

新型コロナ感染症防止策のため実施なし

(2) 物忘れ相談プログラムによる認知症チェック

物忘れ相談プログラムを活用し、物忘れの自己チェックや認知症に関する知識の普及啓発を図る。これまで地域体操教室や町内会・老人クラブ等で行っていたが、新型コロナ感染症防止策のため、集団場面での実施は中止し、来所と訪問による個別対応で実施した。

物忘れ相談プログラム実施数

令和2年度前期 訪問相談 17人 来所相談 28人

令和元年度前期 18回 215人

(3) 認知症カフェの開催

認知症の人やその家族、地域住民、専門職が、気軽に集まり認知症や介護について意見交換できる「認知症カフェ」を市内のグループホーム、ボランティア団体、家族会の協力で開設。

認知症カフェ参加数(単位:回・人)

	ともだち カフェ		カフェ あけぼの		にんかふえ		地域のお茶会 in コスモス		駅カフェ		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
2年度 前期	休止中		6	91	休止中		休止中		3	114	9	205
元年度 前期	5	147	5	122	6	280	6	169	6	464	28	1,182

介護事業所主催のカフェは新型コロナウイルス感染拡大に伴い休止中。

「カフェあけぼの」と「駅カフェ」は7月より再開。

(4) 認知症啓発月間活動

9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせて9月を認知症啓発月間と位置付け、各種事業を展開。

- ・認知症を理解するDVD鑑賞 9月4日(金) 参加者数 27人
- ・物忘れ度測定 9月 4日(金) 参加者数 9人
9月18日(金) 参加者数 14人
- ・認知症クイズ 9月18日(金) 参加者数 42人
9月25日(金) 参加者数 50人
- ・認知症展示コーナー ①市役所螺旋階段下9月1日(火)～9日(水)
②市役所ロビー9月15日(火)～30日(水)
参加者数 176人(パンフレット持ち帰り数)

協力

- ・オレンジ倶楽部…箱ティッシュ啓蒙普及紙の包装、展示 物忘れ度測定案内、DVD 鑑賞案内、マグネット配布
- ・滝川市立病院作業療法室…外来患者様が作業の一環として、普及啓発用マグネットを作成。
- ・滝川市立図書館…認知症書籍の展示、グループホーム入居者様作品の展示。
- ・滝川市内グループホーム8か所…入居者作品提供

(5) 認知症サポーター養成講座

認知症について、研修を修了したキャラバン・メイトが、認知症についての理解と地域での見守り支援の普及啓発の為、認知症サポーター養成講座を実施しているが、前期実施は無し。

(6) オレンジ倶楽部

認知症サポーター養成講座を受講した人達の中で、実際に何かの活動をしたいと思う人達を募り、「おれんじ通信」を発行し、認知症の知識や認知症に関する活動を紹介。
認知症啓発月間には認知症 PR のための展示協力など普及啓発を行った。
「おれんじ通信」の発行（8月）

6. その他の事業

(1) 家族介護者の支援

介護者サロン

家庭で認知症等の介護を行う介護者に対し、介護に関する知識の提供及び介護者同士の交流を通し、心身のリフレッシュ・介護者の疲れの軽減・介護者の悩みの軽減を図ることを目的に開催。介護者とは別室で被介護者を預かる託老も行い、介護者が参加しやすい体制づくりに努めている。
新型コロナウイルス感染防止策のため5月は中止し、訪問により参加者の健康状況の確認と健康上の留意点をまとめたチラシの配布を行った。

介護者サロン実績（単位：人） 7月28日実施分

	介護者	被介護者	オレンジ倶楽部	内容
第1回	10	2	7	講話：ジェルキャンドル作り（講師：石元滋氏）、交流会

(2) 成年後見制度の申し立て支援

市長申し立てに関する相談は3件。

(3) SOSネットワークシステム

徘徊による行方不明者をすみやかに捜索・発見するためのネットワークの構築。
現在の登録実人数は114人。うち、今年度前期新規登録者は14人。搜索依頼4件（市内3件、市外1件）、3件は無事発見、1件は2か月後に死亡で発見。

(4) 滝川市はいかい高齢者等位置探索システム助成事業

今年度前期における新規申請なし。

(5) 高齢者虐待の相談支援 3件

いずれも警察からの連絡で現状を確認、関係者と連絡を取り合いながら経過観察中。

(6) 出前講座

市民や関係機関の依頼に応じて、高齢者福祉・介護予防等に関する講座を実施。
第1回 8月24日「高齢者の健康づくり」老人クラブ連合会 参加者33人

(7) 地域リハビリテーション活動支援事業

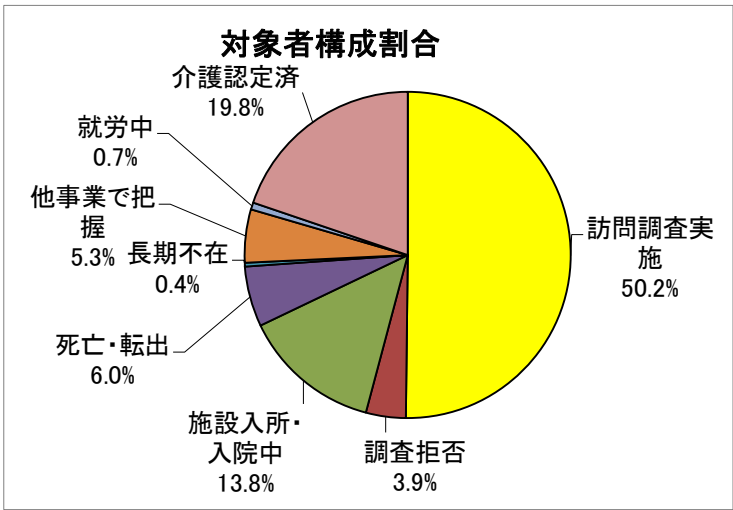
作業療法士が中心となり、介護予防の取り組みを総合的に支援するために、訪問・事例検討会等へ出席する他、市内の医療・介護施設等で勤務するリハビリテーション職の研修・交流の推進。
例年は年に1回施設見学会、研修会を行っているが今年度は新型コロナウイルス感染防止策のため中止。

(2)令和元年度 高齢者実態調査 結果報告

平成31年4月現在での75歳以上総人数 7,170人
令和元年度調査実施地区の75歳以上総人数 1,323人
《調査実施地区》
東滝川、江部乙、幸町
《訪問調査対象者》
世帯構成に関係なく、平成31年4月1日現在満75歳以上の人を対象に訪問調査を実施。
介護サービス利用や入院・施設入所が明らかな場合は訪問調査せず。

	人数	世帯数	内訳		
			単身世帯	夫婦世帯	その他
総数	1,323	733	160	182	170
調査対象地区	東滝川、江部乙(一部)、幸町(一部)				

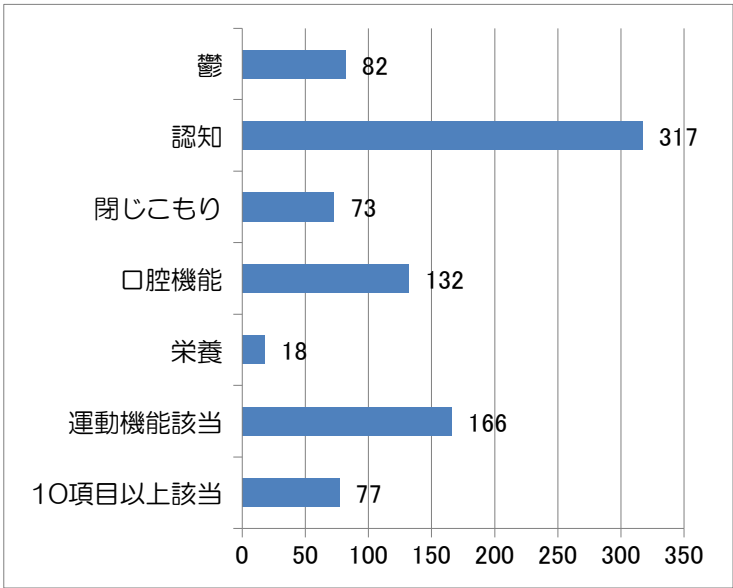
○対象者構成割合



内訳	人数
訪問調査実施	664
調査拒否	52
施設入所・入院中	182
死亡・転出	79
長期不在	5
他事業で把握	70
就労中	9
介護認定済	262
総計	1,323

(江部乙、幸町、次年度持越し149人)

○事業対象者相当(虚弱高齢者)内訳 実数 456人



(調査実施者数の68.7%)

内訳(重複あり)	人数
10項目以上該当	77
運動機能該当	166
栄養	18
口腔機能	132
閉じこもり	73
認知	317
鬱	82

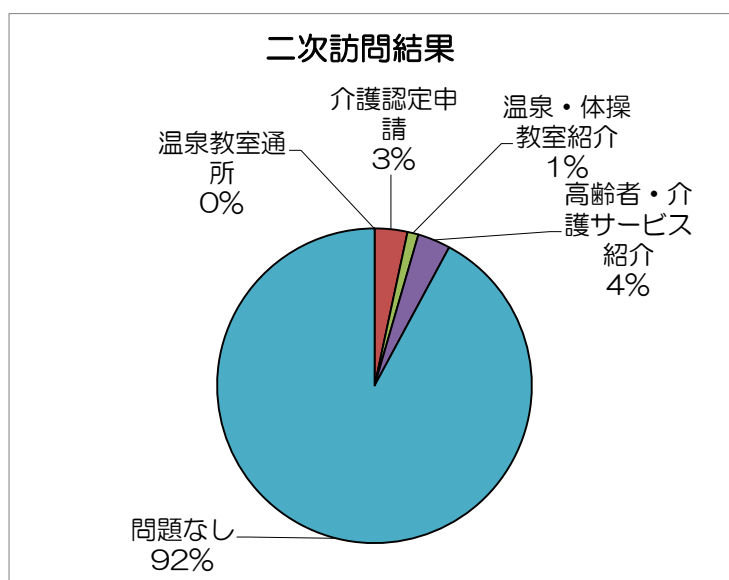
認知機能該当者が高い。

○虚弱高齢者の発見率

	調査実施数(人)	虚弱高齢者(人)	発見割合
実態調査	664	456	68.7%

○二次訪問・電話

虚弱高齢者のうち、介護予防事業(ますますげんき教室・地域体操教室)通所の必要性がある人、介護・高齢者サービスの利用希望者、調査員が気になったケース89人に対し、地域包括支援センター保健師が訪問・電話かけを実施。



内訳	人数
訪問	10
電話	79
計	89

結果	人数
ますますげんき教室通所	0
介護認定申請	3
地域体操教室紹介	1
高齢者・介護サービス紹介	3
問題なし	82
計	89

○まとめ

平成31年度・令和元年度は、高齢者の多い江部乙町を調査対象とした。7月から調査に着手したが、冬期間は長距離の移動の負担を考え、一度江部乙町の調査を中断し、幸町の調査を始めた。

今年度は認知機能の項目の該当者が多くなっている。質問項目としては「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれていますか」「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」「今日が何月何日かわからない時がありますか」の3項目のいずれか一つ該当した場合となる。

この調査はあくまでも本人の主観に基づく回答であるため、実際の認知機能の低下を示している訳ではなく、むしろ認知症についての意識が高まっている事を感じる。日常生活に支障がみられる場合は支援につなげ、相談窓口として包括で行っている物忘れ相談や、物忘れ外来についての情報提供等行っている。

令和2年2月から、新型コロナウイルス感染拡大のため一時期調査を見合わせた。感染の収束が見通せない中、外出の機会が減り閉じこもりがちな高齢者が増えていることもあり、虚弱になる危険性は高い。今後も、調査方法を工夫し感染対策を取りながら調査を継続して行っていく。

(3) 令和2年4月～令和2年9月 認知症初期集中支援チーム活動報告

1. チーム員会議の開催

会議実施数（単位：回・件）

	回数	検討事例数
令和2年度前期	4	4
31・元年度前期	6	6

※令和2年度4～5月は、新型コロナウイルス感染症予防のため開催を中止。

事例の状況

	年齢	性別	世帯構成	相談者	支援経過
6月	91歳	男性	独居	甥	介護認定実施。サービスは利用勧奨するも繋がらず。家族と連絡を取り合いながら経過観察。
7月	80歳	女性	独居	町内会長	地域(町内会や老人クラブ)と連携し経過観察。
8月	65歳	男性	独居	保健センター	認知症の診断、介護認定実施。小規模多機能利用に繋がった。
9月	87歳	女性	同居(長男)	市民課	市民課、医療機関と連携し経過観察。

医療受診について(単位：件)

すでに受診済	0
認知症と診断	1
現在の受診科で経過	3

支援結果(単位：件)

支援終了	1
継続支援	3

継続支援状況

検討後の事例について、家族やケアマネージャー等と連絡調整しながら、訪問・受診同行等の支援を行っている。

実件数 9例、延件数 44件

2. 普及・啓発活動

リーフレットを作成し、介護福祉課の窓口に設置。

地域包括支援センターのパンフレットの中に「認知症の方と家族を支える取り組み」の一つとして掲載。

パンフレットは高齢者実態調査の訪問時に配布。

滝川市介護福祉課宛

FAX 0125-26-5166

令和２年度

第２回滝川市地域包括支援センター運営協議会

委員意見確認書

○確認いただく事案 ※確認後、確認欄に☒を記載願います。

（１）令和２年４月～９月滝川市地域包括支援センター活動報告について

確認欄 ☐

（２）令和元年度高齢者実態調査結果報告について

確認欄 ☐

（３）令和２年４月～９月認知症初期集中支援チーム活動報告について

確認欄 ☐

・具申事項

上記のとおり具申します。

令和２年２月 日

署 名 _____

令和2年度第2回滝川市地域包括支援センター運営協議会における意見書集約一覧

2019/2/19

具申事項	回答
○3000人を超す、要支援1と2の方々が自立した生活を送るための「予防サービス計画」作成の際、何に重点をおいているのか。 ○高齢者実態調査について ・調査拒否の理由は。 ・長期不在の方については居所、安否確認出来ているか。 ・虚弱高齢者の率が高く、なかでも認知機能該当者が相当数を占めています。 こうした人達が居住している地域で安心安全に自立した生活を続けていくため 地域との連携がかかせませんね。	○自立支援に重点を置いております。ただ介護サービスを当てはめるのではなく、ご自分でできるところはどれか、環境を整えればご自分でできるのではないかなど、ご本人の身体状況、興味・関心のある内容を確認しながら、ケアプランに盛り込むようにしています。現在取り組んでいる自立支援型地域ケア会議において、担当事例について多職種のアドバイスをもらうことが、職員の課題分析力を高める事につながっています。 ○高齢者実態調査について (調査拒否の理由について) ・外出が多く訪問に対応出来ない。 ・本人や家族が他人に訪問される事に抵抗がある。 ・玄関口での応答や電話、手紙で居住実態がある事は確認できたが、調査票の作成にはご協力いただけなかった。 となっております。 (長期不在について) 居所は確認済みです。帰宅の予定が分かっている方(冬期間のみ不在等)には、後日訪問対応を行います。 虚弱高齢者につきましては、認知症があっても住み慣れた地域で今まで通りの生活をできるだけ長く続けることを目指しております。そのためには、地域の方々の理解と協力が必要となります。今後も、地域の皆様への働きかけを続けてまいります。
福祉課の皆さん。行動制限のある中で、たくさんの計画にまい進され活躍されていることに、心あつく思いです。 これからも体に気をつけてご活動ください。	民生委員の皆様には、日頃から地域の高齢者の見守り、声掛け訪問等をお願いすることがあり、ご協力に感謝申し上げます。
コロナ禍で対面での対応が難しくなっていますが、それに代わる十分な相談等に留意して下さい。 特に一人暮らしの高齢者はつい遠慮しがちだと思いますので、よろしくお願いいたします。	町連協では見守りを呼び掛けるチラシを作製され、そこに地域包括支援センターの連絡先も掲載していただき、ありがとうございます。感染予防を取りながら個別訪問をしておりますので、気になる高齢者の方がいる時にはお気軽にご連絡ください。
5ページ、6その他事業(5)高齢者虐待の相談3件に関わって質問です この3件は新規なのか。「経過観察中」とあるが、今まで(昨年度まで)の件数の継続もあるのか。 また過年度の経過観察の結果は。	令和2年9月末までの虐待件数3件は全て新規の事案となっております。令和元年度6件のうち虐待事実が認められたのは5件であり、対応結果として養護者への助言指導等により見守り中3件、施設入所1件、サービス利用により状況改善が1件となっております。